平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立大山小学校

1　調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり、本や文章全体を概観して効果的に読んだりしている。 ・意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめたり、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができる。 ・全体の傾向として「読む能力」と「話す・聞く能力」が高く、全国平均を大きく上回っている。	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。 ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。 ・全体の傾向として「書くこと」に課題が見られる。
算数	・基本的な平面図形についてその性質や構成要素を理解している。 ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 ・棒グラフの示す数量を比較し、約何倍と表すことができる。 ・日常生活の問題解決のために、場面から伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。	・図形の面積を求める式を図形と関連づけ、言葉や数を用いて筋道を立てて説明すること。 ・計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること。
質問紙	・起床、就寝、朝食など、規則正しい生活習慣が身についている。 ・学校のきまりを守る、人が困っているときは、進んで助けている、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うなど規範意識が高い。 ・学校に行くのは楽しい、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する、協力して取り組み、うれしかったことがあるなどの回答から、学校生活の充実感が感じられる。 ・先生が自分の良いところを認めてくれている、授業やテストで理解不足のところについて、わかるまで教えてくれるなど信頼関係が良好である。	・自分で計画を立てて勉強しているが、学校の授業時間以外に1日に家（学習塾なども含む）で学習する時間は、30分以上1時間以内と回答する児童が多かった。 ・算数の勉強は好きですかという問いに「どちらかといえば、当てはまらない」と回答する児童が多かった。

2①　授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】
・目的や意図に応じて理由を明確にし、まとめて書くことや、文脈に沿って接続語を利用し内容を分けて書くことに苦戦する様子が見られた。教師の発問や指示を厳選し、考える時間を十分に確保して、考えた事を整理し、自分の考えを書く力を伸ばしていく。
【算数】
・基礎基本の学習内容の定着に努めるとともに、様々な考え方や解き方を話し合う時間を十分に確保し、児童の考え方の幅を広げていく。
・数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度や学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養い、算数への苦手意識をなくしていく。

2②　家庭（地域）への発信内容（協力依頼事項）　※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

今回の調査結果から、児童の規範意識の高さや学校生活の満足度、夢や目標に向かって努力している姿など、児童の良いところや日々頑張っている姿が浮かび上がりました。地域の行事に積極的に参加し、大山のことを外国の人にもっと伝えたい、人の役に立つ人間になりたいという願いを持って勉学に励み、生活している姿も見られました。これらの結果は、グローバル人材の育成を目指し、外国語教育に力を入れている本校としてうれしい限りです。なによりも家庭や地域で児童を見守り、健やかな成長を支えていただいている賜物と感謝申し上げます。引き続き、児童が規則正しい生活を維持しつつ、のびやかに成長できるよう見守っていただけると幸いです。

一方で、「算数はあまり好きではない」という回答もありました。苦手意識を持つ子どもたちへのアプローチを家庭と共有し、算数への自信と興味・関心を高めていきたいと考えます。これからも大山小学校では、小規模校の良さを生かして一人一人の力を伸ばしていくために、きめ細やかな指導を心がけ、学ぶことの楽しさを味わえるような授業の改善と充実に向けて、積極的に取り組むよう努めます。